

[3] 日南市小体連
(学校数 15 校 児童数 2,184 人)

【研究部のあゆみ】

1 研究主題・副題

児童が思考・判断・表現しながら技能を向上させる授業の在り方
～指導と評価の一体化を意識した授業改善を通して～
(4ヶ年計画2年目)

本研究は、4ヶ年計画の2年目となる。昨年度は学習指導要領をもとに、指導する事項や評価規準と評価方法を明確にするための教材シートを作成した。成果としては、必要以上に技能を求めることがないので指導がしやすくなったという意見があった一方で、技能の向上を図るためのドリルゲームや単元計画、A評価の児童の姿の欄があるとさらに有意義に活用できそうだという意見があった。そこで成果や課題を踏まえ、本年度は教材シートの改善に焦点を絞って実践をしてきた。

2 研究仮説

指導する事項や評価の規準・評価方法を明確にして、授業の中で扱う教材を精選するとともに、問題解決的な学習を展開することで、思考・判断・表現しながらその単元に必要な技能を向上させることができるであろう。

3 研究の実際

(1) 教材シートの改善

新たに設けた項目も踏まえて授業づくりをすることで、ねらいとする資質能力の向上を図った。

<p>【令和6年度 教材シート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 指導要領 ② 備考 次の発達段階での指導 ③ 教材名 ④ 場の様子 ⑤ ルール 	<p>【令和7年度 教材シート】【 図1 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① A評価の児童の姿 A評価の児童の姿を把握できるようにすることで、指導者がゴールイメージをもって指導できるようにする。 ② ドリルゲーム 向上させたい技能を明確にし、必要なドリルゲームを記す。 ③ 単元計画 より計画的な指導ができるように、観点や大まかな内容を記す。
---	---

【 図1 】 体育科 教材シート

昨年度はボール運動を中心にを行ったが、器械運動や陸上運動など理事が検討したい領域ごとに作成するようにした。領域毎にどのような技能を高めるかについての考えが深められるようにした。

【 図1 】 体育科 教材シート

(2) ポスターセッション

令和7年11月7日(金)延岡市で開催された令和7年度第66回宮崎県学校体育研究発表大会の小学校部会において、日南市小学校体育連盟の研究発表を行った際に、以下のような意見をいただいた。

- ・ 動画をつけると活動をイメージしやすい。
- ・ 現段階で教材シートを共有したり、使用したりすることはあったか。
- ・ 今後、日南市以外にも発信する予定があれば、参考にしたい。
- ・ 思考・判断・表現しながら、技能を高めるカギとなるものは何か。

これまでは主題に迫るために「まずは何ができればよいか」を協議してきたが、いただいた意見をもとに今後の研究の方向性を定めていきたいと考えている。

【 図2 】ポスターセッション スライドの一部

(3) 教材シートについて協議 (体育専科：辻 龍晟教諭)

第4回理事会で、授業公開を行う体育専科教諭の教材シート「領域：ボール運動 第5学年ゴール型ゲーム(サッカーを簡易化したゲーム)」について協議を行った。指導要領の思考・判断・表現にある「自己やチームの特徴を確認して、作戦を選んでいる」について、児童が選ぶ作戦の提示の仕方を中心に話し合った。

- ・ 児童の意見からチームの課題を見つけ、それに沿って作戦を考えさせる。
- ・ 教師があらかじめいくつかの作戦を考えておき提示する。
- ・ 児童から出た作戦だけでは深まりにくいこともあるので、必要に応じて教師がアドバイスする。

本研究主題である「思考・判断・表現しながら技能を向上させる」ための様々な作戦の選ばせ方が挙げられた。授業公開を通して、思考・判断・表現のさせ方はどのようにあるべきかを



【 図3 】小体連理事会 教材シートの協議

4 次年度の研究の見通し

これまでの2年間は、教材シートを作成・改善し、「知識・技能」「思考・判断・表現」の各観点で、何ができればよいかという評価の規準を把握する段階であった。研究を通して、小体連理事の中で、「どのような手順で体育の授業づくりをすればよいか」についての理解は深まってきたように感じている。

今後は、この作成した教材シートを活用するとともに、「どのように、思考・判断・表現しながら技能を向上させるか」というところを追求していきたい。